

「豊岡スマートコミュニティ推進機構」の活動拠点の開設等について

豊岡市及びトヨタ・モビリティ基金は、適切な技術（ICT/IoT/データ活用）を用いて生活の心地良さを高めつつ、人々がフラットでスマートにつながるコミュニティ「人を幸せにするスマートコミュニティ」の実現のため、「豊岡スマートコミュニティ推進機構（略称：TSC）」を設立し様々な取組みを進めている。

また、同機構の活動を加速させ、さらに拡大していくために、TSC 活動拠点を開設し、地域おこし協力隊を受け入れることとした。

1 TSC 活動拠点「B-room」の開設

(1) 施設概要

- ア 名称 B-room
- イ 場所 豊岡市役所 2 階西側エレベーターホール
- ウ 面積 28 m²
- エ 施工 一般財団法人トヨタ・モビリティ基金

(2) コンセプト

「B-room」には、組織の枠を飛び越え、自分自身が目指す、より“人を幸せにするスマートコミュニティ”を実現するために集ってくる。様々なアイデアをぶつけ合い、目標を定め、集う人みんなが団結してプロジェクトを推進していく。その過程をも共有していくことの象徴が、大きなガラス張りの壁となった。また、オープンな仕事環境を外から眺めるだけでなく、そのアイデアに共感した人が気軽に立ち寄り、新たなシナジーを生み出す。そのような新しい働き方の“大交流”が生まれていく部屋を目指していく。

2 TSC の地域おこし協力隊の採用

地域おこし協力隊を 1 名採用し、TSC 活動がより迅速且つ円滑に行えるような体制を築いていく。

3 TSC の取組み概要

(1) 継続的な取組み

ア 演劇祭・日高地域

豊岡演劇祭 2020 の開催期間中を実証実験の場として、日高地域を中心に、各会場を結ぶモビリティなどの新規施策にチャレンジし、ニーズがあるものは地域へ導入していく。

【主な内容】

- ・ 「旅のしおり」の提供、臨時バス運行、新しい交通モードの導入等

(2) 新たな取組み

ア 竹野南地区

理想的なコミュニティづくりのパイロットケースとして、住民とともに地域のニーズや課題に合った施策の検討・導入を進めていく。

【検討中の取組内容】

- ・ 地域の各種情報のデータベース化、新しい交通手段の仕組みづくり、小学生・高齢者見守り等

イ 防災

近年、多発している豪雨・土砂災害などへの備えとして、小野地区において他地域にも横展開できる防災分野の取組みを進めていく。

【検討中の取組内容】

- ・ 災害時の情報プラットフォーム構築、電動車活用による災害対応力強化等

ウ データ活用検討

住民生活の豊かさと観光地の魅力向上に向け、豊岡ならではの視点でデータや ICT 活用を促進するため、制度や技術、連携方法等の検討を進めていく。

【検討中の取組内容】

- ・ データガイドライン策定、データ活用プラットフォームの検討、オープンデータ化等

エ 福祉モビリティ

地域の福祉・医療サービス提供時の移動等を効率化するため、新しい仕組みを検討する。

【検討中の取組内容】

- ・ 事業者間のシェアリング、ラストマイルにおけるコムスの活用、福祉サービス利用者など交通弱者の外出支援・配達・見守りサービス等

[問合せ] 大交流課観光文化戦略室 TEL0796-21-9081